



広報

なは市

市民の友

第824号毎月1回発行

2019年(令和元年)

9月

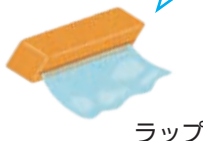
発行 那覇市
〒900-8585那覇市泉崎1丁目1番1号
☎(代表)867-0111
印刷 株式会社 池宮商会
配布 那覇市シルバー人材センター



平成28年熊本地震で被害を受けた南阿蘇高野台地区



皿の代わりや
止血、防寒にも
使えて便利!



ラップ

- ・衣類
- ・非常食品(かんぱん、缶詰、ミネラルウォーターなど)
- ・携帯ラジオ
- ・応急医薬品
- ・照明器具

●持ち出し袋に入れるもの(例)
貴重品(現金、預金通帳、免許証、健康保険証)

家族で話し合い、避難する時に必要なものをまとめて袋などに入れておきましょう。

非常用持出し品の準備

- ・ガスレンジなど火元のまわりは整理整頓する
- ・子どもやお年寄りの部屋、寝室には高さのある家具を置かない
- ・本棚やロッカーなどの収納物は、軽いものを上に、重いものを下に置く
- ・家具は転倒しないよう固定する
- ・テレビは高いところに置かない
- ・本棚やロッカーなどの収納物は、軽いものを上に、重いものを下に置く

身の回りの安全対策

次の事に気を付けながら、身の回りをチェックしてみよう。
・家具は転倒しないよう固定する

救急・防災フェア in 中央消防署

救急医療や防災活動についての理解を深めてもらうためのイベントを開催します。

9月7日(土)

- 13:30 ~ 14:15 式典
- 14:25 ~ 14:35 展示訓練
- 14:35 ~ 15:50 イベント

はしご車搭乗体験、ちびっこ救助体験、応急手当体験コーナーなど

問 消防局救急課
☎867-1199



那覇市総合防災訓練

10月26日(土)

実動訓練

場所: 那覇市役所および周辺施設

13:30 ~ 15:00

避難所運営訓練

場所: なは市民協働プラザ

10:00 ~ 12:00

問 防災危機管理課 ☎861-1102

@nahasiyakusyo



防災Twitter(ツイッター)

避難情報などの災害緊急情報や、不発弾安全化処理情報などを配信。



津波や大雨などの気象警報や災害時の防災情報を受けるサービス。
[tnaha@sg.m.jp]に空メールを送信し、メールが届いたら専用URLにアクセスして本登録。

防災・気象情報メール



情報収集

防災タウンページ

指定避難所の一覧と地図を掲載。タウンページとセットで市内全戸に配布しています。



市ホームページでもお近くの避難所を調べることができます。

なはMAP



で検索

身近な避難場所の確認

近くの公園や学校など、身近な避難場所や避難所、避難ルートを確認し、歩いて確認しておきましょう。

日常生活での備蓄のすすめ

大規模災害の発生直後は、救援物資が届くまでに時間がかかるため、日ごろからの食料などの備蓄をおすすめします。

普段から少し多めに食料や飲料水を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を備蓄しておく方法をローリングストック法と言います。

食料などを一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることが出来ます。みなさんもローリングストック法を実践してみてください。

防災のしおり配布中



◀消防局と森永製菓が共同で防災のしおりを作成しました。市役所総合案内や消防局窓口で配布しています。

主な紙面

- 災害に備えて やっておこう私たちにできること.....1
- 那覇市の財政/10月からごみ処理手数料を一部改定します/12月から水道料金等を改定します.....2
- 年金生活者支援給付金制度がはじまります/ひやみかちなはウォーク2019.....3
- 那覇市社協広報シリーズ第2回/情報パック/博物館トピックス.....4
- 折り込み紙: チャーがんじゅうだより/防災ゆいまーる特別号.....8

総人口 321,627人(5,448人)

世帯数 153,686世帯(3,909世帯)

男:155,835人(2,854人)
女:165,792人(2,594人)

※()内はうち外国人
※総人口と世帯数は2019(令和元)年7月末現在

Facebook



LINE



Instagram



マイ広報誌



マチイロ



そ大ごみ受付



「命どう宝」は、かけがえのない命を尊び、いつくしむことを意味する沖縄の黄金言葉です。
近年、国内で発生した大規模な自然災害では、その脅威を目の当たりにし驚くとともに、命を守る「防災」の必要性をあらためて感じました。
「災害は忘れたころにやってくる」。だからこそ「いつ発生してもおかしくない」という意識をもって、一人ひとりが災害に備えることが大切です。
「命どう宝」。あなたとあなたの大切な人の命を守るため、9月1日の「防災の日」をきっかけに、「防災・減災対策」について、ご自宅や職場でも話し合ってみてはいかがでしょうか。

「命どう宝」は、かけがえのない命を尊び、いつくしむことを意味する沖縄の黄金言葉です。



那覇市長 城間 幹子